

## 第 5 6 回技能五輪全国大会      石工職種競技課題

次の注意事項及び仕様に従って、課題図に示す製品を作製しなさい。

1 競技時間      1 0   時間   0 0   分      打切り時間      1 0   時間   3 0   分

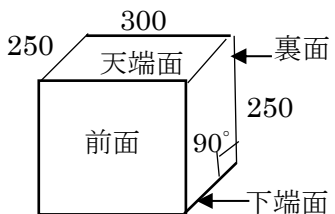
### 2 注意事項

- (1) 支給された寸法等が、「4 支給材料」のとおりであることを確認すること。
- (2) 支給された材料に異常がある場合は、申し出ること。
- (3) 競技開始後は、原則として、支給材料の再支給をしない。
- (4) 使用工具等は、使用工具等一覧表で指定したもの以外のものは使用しないこと。
- (5) 競技中は、工具等の貸し借りを禁止する。
- (6) 作業時の服装等は、作業に適したものとし、防じんマスク、保護メガネを使用して行うこと。
- (7) 標準時間を超えて作業を行った場合は、超過時間に応じて減点される。
- (8) 完成作品の墨は、裏面・底面以外はすべて消すこと。
- (9) 稜線部分は、石材の破片等でこすってはならない。
- (10) 作業が修了したら、競技委員に申し出ること。

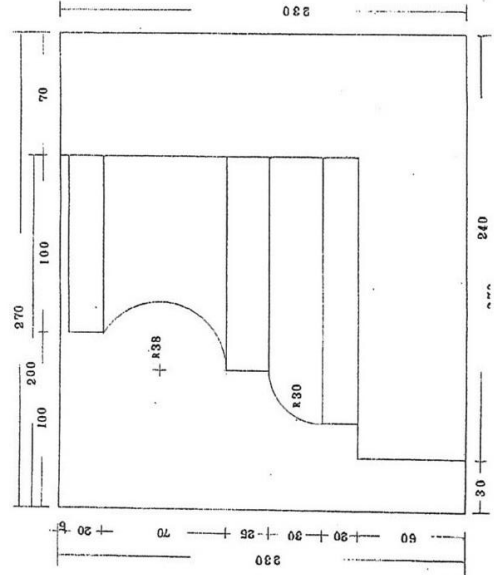
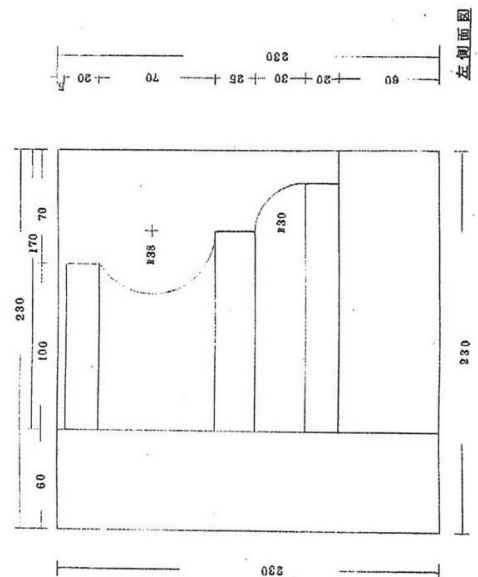
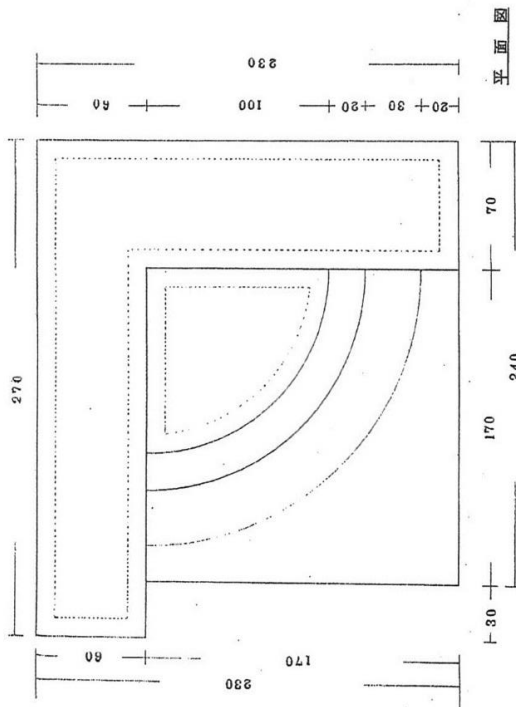
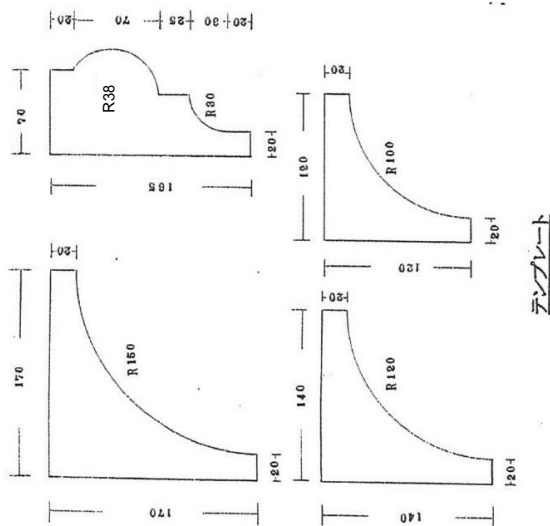
### 3 仕 様

- (1) 墨付けの仕方
  - ① 左右に関しては、墨を中心から振り分ける。
  - ② 前後に関しては、加工しない後ろから墨を付ける。
  - ③ 上下に関しては、加工しない下から墨を付ける。
- (2) 墨付け及び加工には、支給された「テンプレート」を用いること。
- (3) 小たたき仕上げの間隔は、2 mm程度とする。
- (4) びしょん仕上げの部分は、1 0 mm程度のふち取りをしてから、8 枚びしょん仕上げとすること。

### 4 支給材料

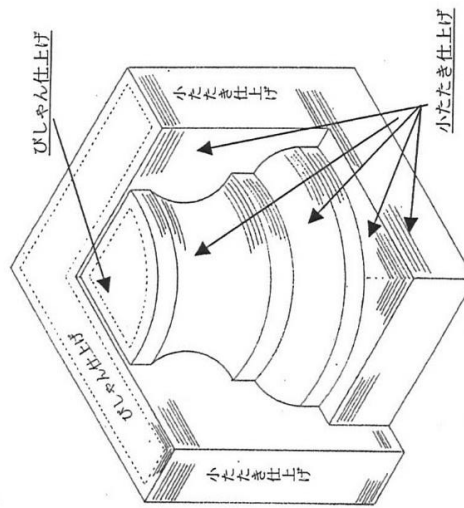
品 名	寸 法 又 は 規 格	数 量	備 考
み か げ 石	(約)300 mm×250 mm×250 mm 裏面及び下端面は、直角に 平面加工してあるもの	1	

# 技能五輪全国大会石工職種課題図

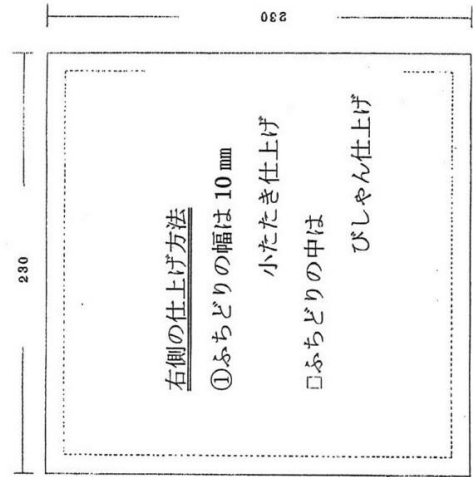


## 仕上げ方法

- ①下図の示す仕上げとする。
- ②ふちどりの幅は 10 mm 小たたき仕上げ。
- ③稜線部分は石材の破片等でこすってはならない。



## 完成図



左側面図

## 技能五輪全国大会石工職種使用工具等一覧表

### (1) 競技に持参できるもの

品 名	寸 法 又 は 規 格	数 量	備 考
さ し が ね	J I S B 7 5 3 4	2	
ス コ ヤ		2	コンビネーションスコヤ使用可
墨 つ ぼ		1	
墨 さ し		1	
コ ン パ ス		1	
三 角 定 規		1	
の み	大・中・小	各 1	平のみ使用可
せ っ と う	中・小	各 1	
こ や す け		1	
端 切		1	
両 刃	荒・仕上げ	各 1	
び し ゃ ん	荒（鬼）、8枚	各 1	
刃 び し ゃ ん	（割刃）	1	
こ べ ら		1	
エアーハンマ		4	チップーの大きさは自由（びしゃん専用機は不可）
エアーのみ	通常使用しているもの	一式	のみ、こべら（刃幅は自由）、びしゃん、平タガネ
枕 木		1	作業に適したものを使用すること
敷 き も の	南京袋又は古毛布	1 枚	
手 ぼ う き		1	
鉛 筆		適当数	又は水性マジック（細）
作 業 服 等		一式	
防じんマスク	国家検定品 RS1,RL1,DS1,DL1 以上	1	サカヰ式 1021R 型(RL2)
保 護 メ ガ ネ		1	
ホ ー ス	5 m	1 本	コンプレッサーからの接続用
エアー分配器		1	
ペ ン チ		1	エアー道具手入れ用
ド ラ イ バ ー		1	エアー道具手入れ用

- （注） 1. 使用工具等は、上記のものに限るが、すべてを用意しなくてもよく、また、同一種類のものを予備として持参することはさしつかえない。
2. 会場に、工具研磨用のグラインダーは無いため、エアーのみは多めに持参すること。

### (2) 試験場に準備されているもの

品 名	寸 法 又 は 規 格	数 量	備 考
テーブルタップ	1 2 5 V ・ 1 5 A 以下	適当数	
コンプレッサー	3.7 k w	競技者 2 人につき 1	
ゲージ（型板）	アルミニウム板製	4	